



ありがとう「笑顔」を「出会い」を「つながり」を

# 僧都小学校閉校式

きょうだいのような友だち、豊かな自然と地域の愛情に包まれた  
一番小さな小学校の閉校式



3月27日(日)、僧都小学校で閉校式が執り行われ、児童や教職員、関係者が147年にわたる永い歴史に思いを馳せました。

僧都川のせせらぎが聞こえ、豊かな自然に囲まれた小学校。山間に広がる美しい棚田では地域の人たちとともにお米を作り、運動会や学習発表会などの学校行事には5人の子どもたちの成長を見守り、支える多くの人が集まりました。保護者や先生方、地域の大きな愛情に包まれた育った子どもたちは、学校生活の中で大きく成長し、旅立ちの日を迎えました。

式典では僧都っ子が感謝のメッセージや中村<sup>かずのり</sup>和憲作詞作曲の「プレゼント」愛南町立僧都小学校卒業ソング」を斉唱し、今まで支えてくれた方々へ感謝の気持ちを伝えました。式典終了後には閉校記念碑の除幕式が行われ、参加者全員で校史の終わりを見届けました。





大切な思い出を胸に  
前に進みだす



## ありがとう僧都小学校



愛南町長  
清水 雅文 まさふみ

僧都小学校は、明治8年に設立された歴史と伝統を有する学校であり、素晴らしい教育実践が高く評価されて参りました。

数えきれない思い出が詰まった母校が閉校を迎えますことは、子どもたち、保護者や地域の皆さま、卒業生の皆さまにとって、例えようのない寂しさがあるものと拝察いたします。

一方、今回の閉校は新たなスタートでもあります。児童の皆さんは新しい環境の中でも、伝統ある僧都小学校の校訓『なかよく・正しく・ねばり強く』を胸に刻み、僧都小学校で培った経験を活かし、保護者への感謝や地域の方々への感謝の気持ちを持ち、挑戦し続けてほしいと思います。



僧都小学校長  
片山 新也 しんや

僧都小学校は令和4年3月31日をもって、147年間の歴史に終止符を打つこととなります。

4月から校舎や校庭には子どもたちの元気な声が聞こえなくなりますが、皆さまの心の中にいつまでも僧都小学校への愛情が永遠に続いていくことを願ってやみません。

僧都小学校は閉校となりますが、それは同時に子どもたち、そして僧都山出地区の新しい始まりでもあります。

子どもたちにはふるさとの良さと、自分たちの良さを誇り、身に付けた力を十分に発揮しながら大いに活躍することを信じています。



僧都小学校  
PTA会長  
岡下 崇 たかし

僧都小学校は、校歌にも歌われている僧都川のせせらぎのもと、学校や地域を見守り続けてきた観音の森、そんな美しい自然に恵まれた環境の中で設立以来147年の長きにわたり、多くの児童がこの学び舎を巣立っていきました。

この歴史と伝統のある学校が閉校してしまうことは、大変残念であり、僧都山出地区にとっても大変寂しいことでもあります。

しかし、子どもたちは学校で培った僧都っ子魂を糧にして、4月から新しい学校で大きく羽ばたいてくれることを願っています。